

No:121 慢性硬膜下血腫の手術(翌日手術)を受ける患者さんへ

ID: @PATIENTID

氏名:@PATIENTNAME 様

手術開始時刻は入院後に説明いたします。

入院日		手術当日		手術後	手術後	手術後
		手術前	手術後	1日目	2～3日目	4日～6日目
月日		/			～	～
アウトカム		バイタルサインが安定している ドレーンに問題がない 神経症状がない 痛みのコントロールが行え安楽に過ごせる		バイタルサインが安定している 傷口に問題がない 痛みのコントロールが行え安楽に過ごせる リハビリが行える 転倒しない 神経症状がない	バイタルサインが安定している 傷口に問題がない 痛みのコントロールが行え安楽に過ごせる リハビリが行える 転倒しない 神経症状がない	バイタルサインが安定している 傷口に問題がない 痛みのコントロールが行え安楽に過ごせる リハビリが行える 転倒しない 神経症状がない
治療 処置		・普段使用している薬がある場合、看護師までお知らせください。 (目薬や塗り薬、貼り薬、普段飲まれているサプリメントや市販薬を含む) ・IDバンドの着用をします。	・必要時、医師から指示のあったお薬を少量の水で飲んでください。 ・点滴を開始します。 ・手術着に着替えます。 ・手術部位の左右確認をします。 手術を行う部位のこめかみにシールを貼ります。	・手術後も点滴を行います。 ・痛み、嘔気、発熱がある場合は、遠慮なくお知らせください。必要な場合は、坐薬や注射、内服などの薬を使います。 ・肺血栓症予防の為に、両足に器具を装着します。 ・必要時、尿の管が入ります。 ・頭部に管が入ってきます。 ・CT撮影の結果をみて、医師が頭の管を抜くか判断します。 (※検査結果によっては、翌日以降に管を抜くことがあります。) ・傷を保護するためのネットをかぶります。	・創部の消毒があります。 ・手術当日に頭の管を抜かなかった場合には朝CT撮影を行います。 ・CT撮影の結果をみて、医師が頭の管を抜くか判断します。 ・リハビリが始まります。	・術後4日目に採血があります。 ・術後1週間で抜糸ができます。 ・抜糸は外来で行う場合もあります。 術後5日目に経過確認の為、CTの検査を行います。 ・医師の検査結果確認後、退院の説明があります。
検査 測定		・血液検査、心電図、X線検査を行う場合があります。	・手術前に、体温、脈拍、血圧を測定します。	・術後、看護師が体温、脈拍、血圧の測定に伺います。	・看護師が体温、脈拍、血圧の測定に伺います。	
入院 生活	食事	・特に制限はありません。 ・21時以降は禁食です。 ・飲水について別途指示があります。	・手術が午前中になる場合は6時以降飲水できません。 ・手術が午後になる場合は10時以降飲水できません。		・医師の指示のもと、飲水からはじめ、状態に応じ食事が開始となります。	・病院食以外の飲食物は医師の許可を確認後に食べられます。
	活動	・手術まで、できる限りベッド上で安静にしてください。 ・排泄の際には医師の指示のもと看護師が付き添い又は介助させて頂く場合があります。	・いつでも手術室へ移動できるようにベッド上で安静にしてください。 ・手術室へはストレッチャー(移動用ベッド)で行きます。	・手術後は医師から指示があるまでは、起き上がることができません。 ・手術後、排泄はベッド上で尿器または差し込み便器を使用します。	・頭の管を抜いた後、起き上がりたり、歩くことができます。 ・手術後初めて歩行する際は看護師が付き添います。	・転倒に注意しながらお過ごしください。 
	清潔	・可能な限りで構いませんのでご自宅で洗髪をお願いします。			・温かいタオルで身体を拭くことができます。 ・シャワーに入ることができます。看護師にお知らせください。	
説明 指導		・主治医から手術についての説明があり、同意書をお渡しします。 ・看護師より入院生活、手術についての説明を行います。 ・手術同意書を看護師に渡してください。 【準備するもの】 ・テープ式紙おむつ ・曲がるストロー		・手術結果は医師よりご家族へ説明があります。 ・間違っって管が抜けてしまわないように手や足を固定する場合があります。	・薬剤師よりお薬の説明があります。	・退院の手続きや、退院後の生活について、注意点など看護師が説明いたします。
看護		手術について理解し、安心して受ける事ができるよう説明いたします。		術後合併症が起きないよう援助いたします。		退院後の生活について理解できるよう援助いたします。

※この説明書は標準的な経過を記載したもので、変更の可能性があります

@HOSPNAME